

南アルプス 聖沢

(雨天のため途中登山道～聖平)

日時：2010年8月13～15日

メンバー：山本 (L)、熊崎、橋立

当初の予定では、今年の夏合宿は飯豊の沢に行く予定だったが、台風が接近し東北は荒れるとの予報だったため、台風の影響が小さいであろう南アルプスに行き先を変え、聖沢に行くことになった。結果は、こちらにも天気には恵まれず、まともに遡行することはできなかったのだが・・・。

8/12 大井川ダム手前の峠にて前泊

8/13 晴れのち曇り、夜小雨

朝の7時過ぎ、畑薙第一ダムに到着。予想以上の数の登山客が始発バスを待っており、結局8:00の始発には乗れず、次の9:10発のバスに乗る。10時頃、聖岳登山口に到着。

登山道の取り付きからしばらくは急な登りとなる。気温は徐々に上がり始めているが、お日様は雑木に遮られていてまだ涼しい。11:30、つり橋に到着し、ここで長めの休憩を取り今後の行動について話し合う。この時点で天気は晴れ。しかし、前日までの雨で沢は増水気味だった。時間も、始発を逃したため、予定よりも遅れている。とりあえず沢の支度をして遡行を開始するが、遡行開始30分もしないうちに良いテン場が見つかり、無理はせずに、明日水が引くのを待とうという結論に至り、この地点で一泊することにした。

寝床を作り、焚き火用のまきを集め、落ち着いたところで釣りを始める。増水気味なので毛ばりを水面で食わせられるか自信がなかったがなんとか5匹釣ることができた。山

本さん、熊崎さんもそれぞれ2匹ずつ釣ったのでこの日の食卓はとても豪華なものとなった。焚き火をかこみ飲みながら食事。まったりとしつつ、19時には就寝。

9:10 畑薙第一ダムからバス発

10:00 聖岳登山口

11:20 つり橋

大休止

12:30 テン場

8/14 曇りのち雨

7:00 にテン場を発つ。一度水が引いたように見えたが、夜に雨が降ったのか水はあまり引いていない。ゴルジュを右岸から巻き、取水口堰堤の下まで来ると、大垂を見ることが出来る。堰堤からは勢いよく水が吹き出していて圧倒される。平水時はこの堰堤を直登することが出来るというが、到底できる状態にはなかった。左岸は何箇所かルンゼがあり、熊崎さんと私で、上に抜けるルートを探す。岩のバンドに行く手を阻まれてしまう。山本さんが、右岸が登れそうと言うのでルートを遠めに確認するが、コケなどがいやらしく最後の一手が危なそう。結局右往左往して、1時間ほどルートを探るが結局登山道に抜けることにした。9:30 ころに登山道に這い上がる。上から様子を見つつ、戻れそうなら沢に戻って、上流を遡行しようとしたが、水の量は多く遡行できそうにない。すれ違う下山する登山者は雨具を着ている。どうも山頂付近は朝から雨だったようだ。その後、雨足が強まり、結局この時点で遡行は断念し、この日は登山道を歩き、聖平の小屋に泊まることにした。はっきりしない天気なのか、遡行するかしまいか迷いながらきたが、ここに来

て大雨に降られ、迷いも吹っ切れ気が楽になる。前聖沢、奥聖沢などを登山道から眺め、聖平を目指す。雨の中歩き続け、14：20に聖平小屋に到着。濡れた服を干し、酒を飲み、飯を食い、19:00 過ぎに就寝。

7：00 テン場発

9：30 登山道

10：20 小屋跡

14：20 聖平小屋

8/15 曇り

下山。井川観光協会のバスで畑薙第一ダムへ。

6：20 聖平小屋発

8：20 小屋跡

9：05 つり橋着

～釣り

10：40 つり橋発

11：30 登山口着

12:00 井川観光協会バス乗車

以上